

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

研究主題

「読み解く力」の育成 ～NIEの活用を通して～

1 単元名 「夢発見 ～自分の生き方について考えよう～」

2 単元の目標

様々な職業や働いている人たちについて調べ、これまでの自分の経験と関連させ、働くことの価値や意義について考えることで理解を深めていく。職業選択をするための意欲・能力や態度の基盤を育てていくとともに、友達と協働的に課題を追究、解決していく中で、理由や根拠を明らかにしながら自分の考えや思いを表現する力を育てる。

3 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	① 様々な職業について調べ、働くことについて理解している。 ② 自分の将来の夢や目標を分かりやすくまとめている。	① 自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現をしている。 ② これまでの自分の経験と関連させ、働くことの価値や意義について考えている。 ③ これまでの学習を通して得た考えや思いを振り返り、自分にできることは何かを考え、伝えている。	① 自ら積極的に探究するとともに他者の考えを認め、課題の解決や目標に向かって最後まで取り組もうとしている。 ② 自分の将来の夢や目標を考えようとしている。

4 目指す児童像

新聞から必要な情報を読み取り、働くことについて興味をもって、夢や希望、目標を伝えることができる児童。

5 仮説

働くことに関する記事を読み、働くことへの思いや考えを知り、自分の意見を述べたり書いたりする活動に取り組みさせることにより「読み解く力」を身に付けることができるであろう。

6 指導観

(1) 単元について

本単元では、働く人の思いや考えに着目させ、働く人がそれぞれの考えや思い、夢や希望をもっていることに気付かせ、自分の生き方につなげていくことをねらいとしている。第5学年では、キッザニア東京で体験活動を行うことで、様々な仕事があることを理解することができた。本単元を通して、自分の夢の実現に向けて必要なことや目標、参考にしたい生き方を見つけ、将来の職業や生き方について夢や希望を抱き、働くことへの意欲を喚起させたい。

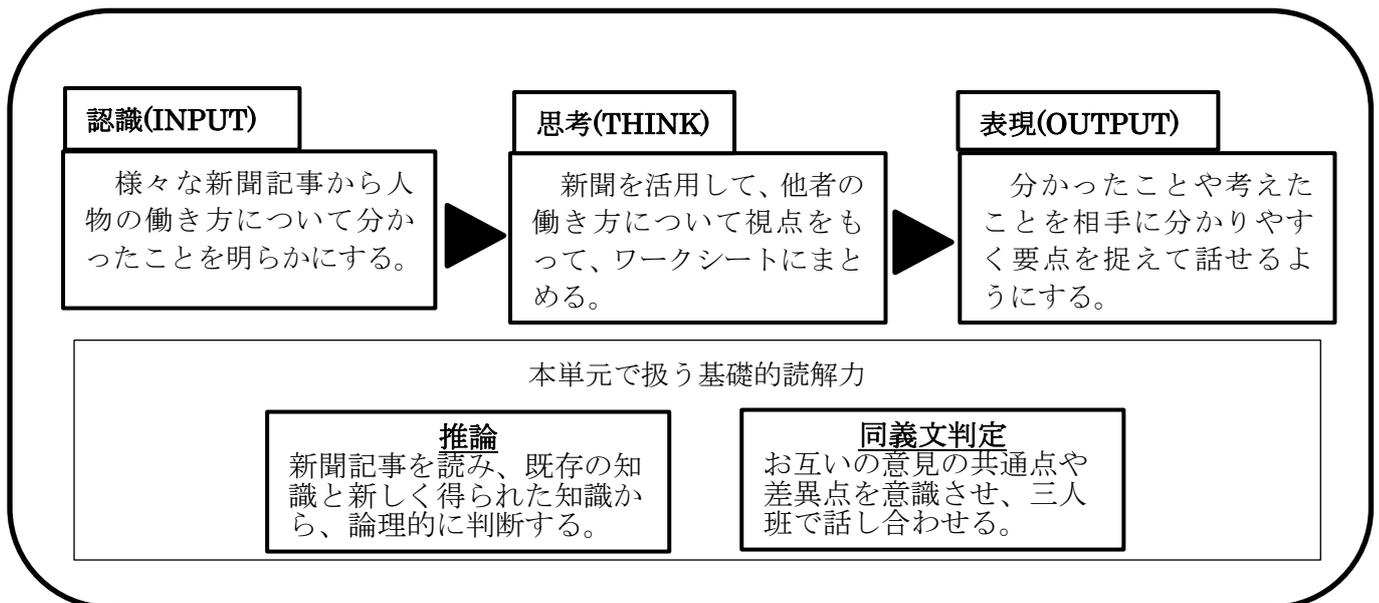
(2) 児童について

(3) 教材について

本単元の導入において、毎日新聞「母校をたずねる」の刀剣作家の方についての記事を教材として使用する。この記事を読み、考えたことや感じたことを話し合う活動を行うことで、働くことに対しての思いや考えがあることに気付き、夢や希望をもって自分の将来について考えていく活動へと繋げていく。

7 研究主題に迫るための手立て

(1) 読み解く力を身に付けるための手立て



(2) N I E の活用

6学年では、週2回あるN I Eタイムにおいて読売新聞のワークシートを行っている。教科では、総合の学習で移動教室の事後学習として班で1枚の模造紙に新聞を作成した。理科の学習では、単元ごとに新聞を作成している。また、行事ごとにはがきサイズのミニ新聞も作成している。

そして、興味をもった新聞記事の要約と記事に対する感想を紹介する1分間スピーチにも取り組んでいる。当初は1面の大きな記事を紹介する児童が多かったが、回数を重ねていくうちに、自分の興味のあるスポーツの記事や東京に関する記事、教科に関係ある記事やSDGsの記事など、発表者によって様々な記事を紹介しいろいろな記事を知る機会となっている。

本単元では導入段階での意欲付けとして新聞記事を使用する。働いている人の気持ちや目指すきっかけが載っている記事を利用して、働くことに対しての希望や前向きな気持ちを育てたい。

そして、導入以外でも仕事のやりがいや、自分に合った職業を見つけていくきっかけの1つとして

今後の活動でも新聞を活用していく。

8 単元の指導計画・評価計画(全15時間)

学習過程		○主な学習活動	読み解く力との関連	
			視点	□指導上の留意点◆評価規準 ☆N I Eの活用
第1次	1 2 時	新聞を使って、ひとの「生き方」から働くことについて考え、意見交換する。 学習課題をたてる。 学習の流れを話し合う。 学習計画をたてる。	推論 同義文判定	☆毎日新聞 令和4年 11月9日(水)「母校をたずねる」を用いる。 ◆自ら積極的に探究するとともに他者の考えを認め、課題の解決や目標に向かって最後まで取り組もうとしている。【主】①
	3 時	自己分析・他己分析 自分や他者からみた自分について差異点や共通点を知り、自分の良さや得意なことを見出す。	同義文判定	□班で活動を通して、自分や他者からみた自分の良さや得意なことを知り、自分について見つめ直させる。 ◆自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現をしている。【思】①
第2次	4 5 時	自分年表 前編 (小学校まで) 今までの自分について振り返り、年表にまとめる。	係り受け解析	□保育園や幼稚園、小学校などで覚えている出来事や初めてできたこと、頑張ったことについて思い出させ、年表にまとめさせる。 ◆自分の将来の夢や目標を自分年表に分かりやすくまとめている。【知】②
	6 7 8 時	自分年表 中編 (夢・目標) 今後、やりたいことやかなえない夢について調べる。	係り受け解析	□タブレット・新聞・本を用いて、自分の夢ややりたいことについて調べさせる。 必要な資格や技能について調べさせる。 ◆様々な職業について調べ、働くことについて理解している。【知】① ◆自分の将来の夢や目標を考えようとしている。【主】② ◆これまでの自分の経験と関連させ、働くことの価値や意義について考えている。【思】②
	9 10 時	自己年表 後編 (仕事するまで) 調べた内容をもとに、仕事をすするまでの年表を作成する。	係り受け解析 同義文判定	□必要な資格や技能をいつ取得し、どのような仕事ややりたいことをしていきたいか、年表にまとめさせる。 ◆自分の将来の夢や目標を分かりやすくまとめている。【知】②

第 3 次	1 1 1 2 1 3 時	自分新聞作り（夢、目標・そのために必要なこと・参考にしたいこと）	係り受け解析 推論 同義文判定	□様々な人の働く思いについて知り、自分新聞に活かしていく。 ☆自身が気になった記事を見つけ、働くことの思いや仕事内容について深めていく。 ◆自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現をしている。【思】① ◆自分の将来の夢や目標を分かりやすくまとめている。【知】②
	1 4 1 5 時	自分が調べた仕事、頑張りたいことを宣言し、友達の生き方について新たに気付いたことや感想を伝える。	係り受け解析 同義文判定	□相手に伝える時の視点を理解させる。自分との違いにも意識させて話し合わせる。 ◆これまでの学習を通して得た考えや思いを振り返り、自分にできることは何かを考え、伝えている。【思】③

9 本時の展開（本時 15 時間 1 時間）

(1) 本時の目標

働く人の思いや考えがあることを知る。学習課題を立てることができる。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◆評価規準（方法） ※読み解く力との関連 ☆N I E の活用
導 入 3 分	○記事の写真を確認する。 ○めあてを確認する。	□拡大をした写真を用意し、電子黒板に映す。 ☆毎日新聞 令和4年 11月9日(水)「母校をたずねる」を用いる。
	めあて 働く人の思いや考えを知り、働くことについて考え、 学習の見通しをもとう	
展 開	○リード文を範読する。 ○自分の心に残った言葉に線を引ながら記事を読む。 ○記事を読んで、自分が感じたことを書き、書いた内容を班や全体で共有する。 ・○○さんのやりたいと思ったことを貫いた姿を知り、自分も頑張りたいと思った。 ・私もまだ、やりたいことが決まっていないから、まずは自分の好きなことを最後まで一生懸命やってみようと思った。 ○宮下正吉さんはどのような思いで仕事を行っているのか考え、吹き出しに書く。 ・貫いたことを最後までやりとげよう。 ・もっと良い刀を作っていきたい。	□分からない言葉や読めない言葉は、あらかじめ調べておき、注釈でまとめておく。 □自分が印象に残った言葉や考え方を確認させ、感じたことを書かせる。 □お互いの意見の共通点や差異点を意識させて、三人班で話し合わせる。※同義文判定 □吹き出しに書く時に、台詞のように表現しても良いことを伝える。※推論 □お互いの意見の共通点や差異点を意識させて、三人班で話し合わせる。※同義文判定

		□働くことについての思いや考えが人それぞれ同じではないことを確認する。
ま と め	○学習課題を書く。	
	学習課題 自分の夢ややりたいことを見つけ、それに向かって今できることを考え、伝え合おう	
	○ふり返りを書く ・これから、夢を叶えるために必要なものやできることを考えていきたい。 ・自分の夢ややりたいことを見つけたい。 ・同じ記事でも人によって感じ方が違うことが分かった。	□新たに気付いたことやこれからの学習で頑張りたいことを考えさせる。 □学習課題を達成させるために、次時で学習の流れを考えることを伝える。 ◆自ら積極的に探究するとともに他者の考えを認め、課題の解決や目標に向かって最後まで取り組もうとしている。【主】①

【授業を見る視点】

- 「読み解く力」を伸ばすための指導の工夫について
 - ・本時の目標を達成するために、ワークシートは有効であったか。
- N I Eの活用
 - ・新聞記事を活用して、これから学習していくことへの意欲付けとして有効であったか。